

◎ 2切片パズル

枠の中に、2つの切片を合わせて、絵を完成させる。

◎ 3切片、4切片…のパズル
やり方がわかるようになったら
切片を増やしていく。

◇指導のねらい

絵の切片を合わせて、1枚の絵を完成させる。

◇基本の使い方

枠の中に1つの切片を入れておき、もう1切片を渡して、完成させる。できるようになったら切片を

◇指導の評価 増やしていく。

「2つの切片を合わせる」という意味がわからなかった児童や意欲のない児童にとって、本児の好きな写真や絵を題材にすることで、意欲をもって学習できた。

T.S (小3) の場合

自閉症児で、コマーシャルが大好き。特にショップや薬局の商品が好きなので、パズルは、Aカラーの空箱や、歯みがき材の絵などを使用した。初めは、2切片から始めた。「ビゲンやろう」と誘ってくるようになり、意欲を示した。2切片ができるようになったので、パズルを切り、3切片4切片と複雑にしていった。やり方がわかるようになったので、パズルの絵を一般の物(動物、電車など)に変えたが、絵を合わせて完成させることができた。今では、20ピースのパズルができるようになった。

